

わだいな



▲美しい歌声を披露する福連木子守唄保存会の皆さんと福連木小学校の児童たち

全国子守唄サミット&フェスティバル2011in五木 天草

山里に響く福連木の子守唄

11月5・6日、「第23回全国子守唄サミット&フェスティバル2011in五木」が球磨郡五木村の子守唄公園で開かれ、同6日に行われた子守唄コンサートに本市から福連木子守唄保存会と、福連木小学校の児童が参加しました。同フェスティバルは、子守唄発祥の地である全国の7つの市や村が、毎年持ち回りで開催しているもの。コンサートでは、全国の子守唄伝承者が出演する中、同保存会と同小学校の児童も着物に身を包み福連木の子守唄をそれぞれ披露。会場に詰めかけた観客からは大きな拍手が送られ、中には感動して涙ぐむ姿も見られました。

産島八幡宮例祭 河浦

神輿が船に乗り海を渡る

10月22・23日、宮野河内地区で「産島八幡宮例祭」が行われました。この祭りは、初日に神輿を同地区の無人島・産島にある産島八幡宮から上平港まで船で運ぶ“お下り”があり、上平十五社宮に一晩奉られた後、2日目の“お上り”で同島へ帰るといったもの。“海を渡る祭礼”として広く知られており、市無形民俗文化財にも指定されています。両日は、大漁旗を掲げた船団による神幸行列や、色鮮やかな衣装に身を包んだ子どもたちによる太鼓踊りや獅子舞などが行われ、多くの見物客でにぎわいを見せていました。



▲産島から上平港へ渡るため船に乗せられる神輿



▲勇壮な獅子舞の披露

市立本渡看護専門学校・戴帽式 本渡

純白のナースキャップで決意を新たに

10月21日、市立本渡看護専門学校で「戴帽式」が行われました。これは同校が、看護師を目指す学生に責任と自覚を促し、意識を高めることを目的に毎年実施しているもの。式典では、今年4月に入学した21期生40人が、教員から純白のナースキャップを付けてもらった後、キャンドルを手にナイチンゲール誓詞を斉唱。その後、学生を代表して佐々木綾さんが誓いのことばを述べ、学生たちは目標とする看護師への決意を新たにしていました。



▲キャンドルに火を灯す学生



▲小暮氏が作るオムレツに見入る児童たち

御領小学校でオリーブ料理教室 五和

オリーブ料理のおいしさに驚き！

御領小学校6年生の総合学習として11月4日、オリーブオイルソムリエの小暮剛氏を招いてオリーブ料理教室が同校で開かれました。これは五和まちづくり協議会が、市が特産化を進めているオリーブを子どもたちから親しんでもらおうと開催したもの。同教室では、小暮氏がオリーブにまつわる話をしながら“オムレツのオリーブ醤油ソース”などを調理。試食した児童たちは、「とてもおいしい、親に作ってあげたい」と大喜びでした。その後、参加者でオリーブ料理の給食を囲み、会食を楽しみました。



▲「ハイ！あ〜んして」大きく口を開ける子ども

市健康フェスタ 栖本

“いい歯”を目ざそう！

11月12日、「天草市健康フェスタ」が栖本福祉会館で開かれ、210人が参加しました。これは市と天草郡市歯科医師会が、“いい歯の日”（11月8日）にあわせて、歯と口の健康づくりの推進と生活習慣を見直し改善するきっかけ作りを目的に開催したもの。催しでは、歯科診察・相談や歯ごとの染め出しなどのコーナーのほか、健康に関する各種相談窓口を設置。来場した子どもは、大きな口を開けて鏡で自分の歯を確認しながら、歯科医師の話を熱心に聞いていました。

モニターツアー 新和

地域資源をいかして交流人口の増加を目指す

新和町の地域資源を活用し、交流人口の増加による地域活性化を目的に11月5・6日、福岡県在住の18人が参加してモニターツアーが開かれました。これは、宮南半島ツーリズム推進協議会が開催しているもので、今回で2回目。参加者は、5日にマグロウォッチングや酒造会社の工場を見学した後、翌6日には大多尾えびす市を訪問。船団パレードやタイ釣り大会に参加し、ふだんは経験ができない内容を満喫していました。参加者は、「皆さんの温かさにも触れられました」と笑顔で話していました。



▲大多尾えびす市でタイ釣りを楽しむ参加者